

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-4-1-1・2 事業名：コミュニティバス運行調査事業（わたりん号）						
事業費：総額 25,671千円 国費 20,536千円 （内訳：委託費 25,671千円）						
事業期間：平成27年度～平成29年度						
事業目的：災害公営住宅・防災集団移転促進事業などの住宅再建の進捗に併せ、仮設住宅等から移転再建する住民（被災者を含む）の新たな生活の立ち上げ及び交通手段を確保するため、町民バスを運行する。 本事業は、災害公営住宅と仮設住宅、既存集落、公共・医療機関などの市街地を結ぶ町民バスを2年程度のモデル的な運行を通して路線を検討する。 仮設住宅から移転先団地への移転が進む中で、災害公営住宅を含む中心市街地を循環する新たな路線を設け、被災者を含む災害公営住宅や移転先団地住民の生活の立ち上げ、交通弱者支援により、住民（被災者を含む）の利便性の向上を図る。						
事業地区：巨理町全域						
事業結果 仮設住宅等から災害公営住宅・防災集団移転促進事業などで移転再建する住民（被災者を含む）の新たな生活の立ち上げ及び交通手段確保に寄与した。 <平成27年度> ・測量設計費 3,172千円 運行日数：109日 運行便数：7便/1日 運行路線：2路線 運行実績：2,092人 <平成28年度> ・測量設計費 11,397千円 運行日数：243日 運行便数：7便/1日 運行路線：2路線 運行実績：9,142人 <平成29年度> ・測量設計費 11,102千円 運行日数：243日 運行便数：7便/1日 運行路線：2路線 運行実績：11,678人						
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ○本事業は、災害公営住宅と仮設住宅、既存集落、公共・医療機関などの市街地を結ぶ町民バスを2年程度のモデル的な運行を通して路線を検討し、現在の路線に結びついた。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。 ② コストに関する調査・分析・評価 ○巨理町財務規則などに基づき適正に価格算定を行っている。 ⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 <table border="1" data-bbox="252 1742 1369 1825"> <tr> <td></td> <td>想定事業期間</td> <td>実際の事業期間</td> </tr> <tr> <td>委託</td> <td>平成27年10月～平成30年3月</td> <td>平成27年10月～平成30年3月</td> </tr> </table> ⇒ 効率的に事業を進め想定した事業期間内に完了したことから、事業手法として妥当と判断する。		想定事業期間	実際の事業期間	委託	平成27年10月～平成30年3月	平成27年10月～平成30年3月
	想定事業期間	実際の事業期間				
委託	平成27年10月～平成30年3月	平成27年10月～平成30年3月				
事業担当部局 巨理町企画課企画班 電話番号：0223-34-0505						